授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目　必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定３級に合格する
教科書	問題集・プリント・模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 対義語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	一般科目　必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	自己分析、自己ＰＲの完成及び発表
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己ＰＲの見直し 2 自己分析の方法・注意点 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己分析③ 6 自己ＰＲの作り方 7 自己ＰＲの作成① 8 自己ＰＲの作成② 9 自己ＰＲの作成③ 10 自己ＰＲの作成④ 11 自己ＰＲの作成⑤ 12 自己ＰＲの修正① 13 自己ＰＲの修正② 14 自己ＰＲ発表①（効果測定） 15 自己ＰＲ発表②（効果測定）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目　必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章内の移動① 3 文章の書式設定① 4 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 5 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 6 文章の印刷、保存① 7 文章の印刷、保存② 8 文字列・段落の挿入① 9 文字列・段落の挿入② 10 文字列・段落の書式設定① 11 文字列・段落の書式設定② 12 文字列・段落の書式設定③ 13 文字列・段落の並び替え、グループ化① 14 文字列・段落の並び替え、グループ化② 15 文字列・段落の並び替え、グループ化③
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定および授業への参加姿勢による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅠ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	エアロビクスの特性・効果を理解し、エアロビクスを構成する各種運動・動作を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストのエアロビクスの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト実践編
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 エアロビックダンスの歴史、特性と効果 2 有酸素性運動の基礎知識 3 エアロビックダンス実践①（ローインパクトのエアロビックダンス体験） 4 エアロビックダンス実践②（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験） 5 エアロビックダンス実践③（８ビートの理解） 6 エアロビックダンス実践④（各ステップの特徴と注意点） 7 エアロビックダンス実践⑤（各ステップの特徴と注意点） 8 前期中間考査 9 エアロビックダンス実践⑥（正しい姿勢と見本） 10 エアロビックダンス実践⑦（正しい姿勢と見本） 11 エアロビックダンス実践⑧（正しい姿勢と見本） 12 エアロビックダンス実践⑨（運動強度） 13 エアロビックダンス実践⑩（運動強度） 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 エアロビックダンス実践⑪（ドリル：上肢） 17 エアロビックダンス実践⑫（ドリル：上肢） 18 エアロビックダンス実践⑬（ドリル：全身） 19 エアロビックダンス実践⑭（ドリル：全身） 20 エアロビックダンス実践⑮（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 21 エアロビックダンス実践⑯（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 22 エアロビックダンス実践⑰（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 23 後期中間考査 24 エアロビックダンス実践⑱（安全で効果的な楽しいレッスン） 25 エアロビックダンス実践⑲（安全で効果的な楽しいレッスン） 26 エアロビックダンス実践⑳（プログラミング） 27 エアロビックダンス実践㉑（プログラミング） 28 後期期末考査対策 29 後期期末考査 30 テスト解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理 2 水泳実践①（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策） 3 水泳実践②（４泳法の基本的動作の習得） 4 水泳実践③（４泳法の基本的動作の習得） 5 水泳実践④（４泳法の基本的動作の習得） 6 水泳実践⑤（４泳法の基本的動作の習得） 7 水泳実践⑥（４泳法の基本的動作の習得） 8 前期中間考査 9 水泳実践⑧（４泳法の基本的動作の習得） 10 水泳実践⑨（４泳法の基本的動作の習得） 11 水泳実践⑩（４泳法の基本的動作の習得） 12 水泳実践⑪（４泳法の指導法） 13 水泳実践⑫（４泳法の指導法） 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果 17 水中運動実践①（水中ウォーキングの種類と基本動作） 18 水中運動実践②（水中ウォーキングの運動強度） 19 水中運動実践③（水中ウォーキングの脚・手の動き） 20 水中運動実践④（水中ウォーキングのプログラミング） 21 水中運動実践⑤（水中ウォーキングのプログラミング） 22 水中運動実践⑥（水中ウォーキングの指導法） 23 後期中間考査 24 水中運動実践⑧（水中ウォーキングの指導法） 25 水中運動実践⑨（水中ウォーキングの指導法） 26 水中運動実践⑩（水中ウォーキングの指導法） 27 水中運動実践⑪（水中ウォーキングの指導法） 28 後期期末考査対策 29 後期期末考査 30 テスト解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定および授業への参加姿勢による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてＳＰＩ試験の傾向を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マイナビＷｅｂ模擬試験で全国平均点以上を目標にする
教科書	マイナビテキスト（言語・非言語）
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（ＳＰＩ：言語）① 2 筆記試験対策（ＳＰＩ：言語）② 3 筆記試験対策（ＳＰＩ：言語）③ 4 筆記試験対策（ＳＰＩ：言語）④ 5 筆記試験対策（ＳＰＩ：言語）⑤（効果測定） 6 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）① 7 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）② 8 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）③ 9 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）④ 10 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑤ 11 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑥ 12 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑦ 13 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑧ 14 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑨ 15 筆記試験対策（ＳＰＩ：非言語）⑩（効果測定）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	様々な面接で対応できる技術を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団面接の基本 2 集団面接練習① 3 集団面接練習② 4 集団面接練習③（効果測定） 5 集団討論の基本 6 集団討論練習① 7 集団討論練習② 8 集団討論練習③（効果測定） 9 個人面接の基本 10 個人面接練習① 11 個人面接練習② 12 個人面接練習③（効果測定） 13 書類送付方法 14 ビジネス電話 15 ビジネスメール
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な栄養学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 五大栄養素の役割① 2 五大栄養素の役割② 3 五大栄養素の役割③ 4 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化・吸収、食物選択のためのガイド 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 身体組成とエネルギー代謝① 9 身体組成とエネルギー代謝② 10 スポーツ栄養マネジメント 11 種目特性の分類と食事 12 トレーニングスケジュールと食事 13 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給① 14 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給② 15 期末考査① 16 栄養・食事計画の立案 17 目的別の食事管理 18 栄養サポートと栄養教育の実践 19 運動時におけるエネルギー源、エネルギー消費量の推定法 20 適切な減量計画 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 健康日本２１における具体的な目標 24 日本人の食事摂取基準 25 食事バランスガイド 26 食事バランスガイドを活用した食事指導 27 食育について① 28 食育について② 29 期末考査② 30 解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を理解させる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 機能解剖　上肢の骨① 2 機能解剖　上肢の骨② 3 機能解剖　上肢の関節① 4 機能解剖　上肢の関節② 5 機能解剖　上肢の筋肉① 6 機能解剖　上肢の筋肉② 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 機能解剖　脊柱の基本構造 10 機能解剖　脊柱と胸郭の骨① 11 機能解剖　脊柱と胸郭の骨② 12 機能解剖　脊柱と胸郭の関節① 13 機能解剖　脊柱と胸郭の関節② 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 機能解剖　関節の運動を表わす用語 17 機能解剖　下肢の骨① 18 機能解剖　下肢の骨② 19 機能解剖　下肢の関節① 20 機能解剖　下肢の関節② 21 機能解剖　下肢の関節③ 22 後期中間考査対策 23 後期中間考査 24 機能解剖　下肢の筋肉① 25 機能解剖　下肢の筋肉② 26 機能解剖　下肢の筋肉③ 27 機能解剖　下肢の筋肉④ 28 機能解剖　下肢の筋肉⑤ 29 後期期末考査対策 30 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を理解し、対応、予防ができる
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な救急処置範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 救急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング実習　足関節① 6 テーピング実習　足関節② 7 テーピング実習　足関節③ 8 テーピング実習　足関節④ 9 前期中間考査(筆記) 10 前期中間考査(実技) 11 テーピング実習　膝関節① 12 テーピング実習　膝関節② 13 テーピング実習　膝関節③ 14 テーピング実習　膝関節④ 15 テーピング実習　膝関節⑤ 16 テーピング実習　下腿① 17 テーピング実習　下腿② 18 前期期末考査(実技) 19 マッサージ実習　下肢① 20 マッサージ実習　下肢② 21 マッサージ実習　下肢③ 22 マッサージ実習　下肢④ 23 後期中間考査(実技) 24 マッサージ実習　上肢① 25 マッサージ実習　上肢② 26 マッサージ実習　上肢③ 27 マッサージ実習　上肢④ 28 マッサージ実習　上肢⑤ 29 マッサージ実習　全身 30 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	様々なトレーニング方法を学び、実技実演を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 2 トレーニング実践　アイソトニックトレーニングの実際① 3 トレーニング実践　アイソトニックトレーニングの実際② 4 トレーニング実践　アイソメトリックトレーニングの実際 5 トレーニング実践　サーキットトレーニング 6 トレーニング実践　筋力トレーニングの効果 7 トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラムの条件設定① 8 トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラムの条件設定② 9 前期中間考査 10 トレーニング実践　筋力トレーニングの実際① 11 トレーニング実践　筋力トレーニングの実際② 12 トレーニング実践　筋力トレーニングの実際③ 13 トレーニング実践　筋力トレーニングの実際④ 14 前期期末考査 15 トレーニング実践　パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① 16 トレーニング実践　パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② 17 トレーニング実践　パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 トレーニング実践　パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際①　パワークリーン 20 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際②　ダンベルパワークリーン 21 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際③　スナッチ 22 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際④　ジャーク、SQジャンプ 23 後期中間考査 24 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際　プライオメトリクス① 25 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際　プライオメトリクス② 26 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際　プライオメトリクス③ 27 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際　プライオメトリクス④ 28 トレーニング実践　パワー向上トレーニングの実際　プライオメトリクス⑤ 29 後期期末考査 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を理解させる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動生理学範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動の発現 2 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構 3 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構 4 筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ 5 筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 運動の持続と呼吸循環系 9 運動の持続と呼吸循環系 10 呼吸循環系の機能の指標と調節機構 11 運動に伴う呼吸循環機能の変化 12 運動時の酸素利用 13 運動時の酸素利用 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 トレーニングによる呼吸循環系の適応 17 運動と血液・体液 18 成長期における体力・基本的動作スキルの発達 19 成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因 20 後期中間考査対策 21 後期中間考査 22 テスト解説・スポーツ業界の近況 23 呼吸循環系の基礎的情報 24 呼吸循環系の基礎的情報 25 運動と呼吸循環系 26 運動と呼吸循環系 27 トレーニングと呼吸循環系 28 後期期末考査対策 29 後期期末考査 30 テスト解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動指導の心理学的基礎の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデル・及び技法 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデル・及び技法 5 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 指導と受講のミスマッチと解決方法 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法 10 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法 11 一般人の健康増進への活用1.2 12 一般人の健康増進への活用3.4 13 一般人の健康増進への活用5.6.7 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	発育発達論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な発育発達範囲の知識を身につける
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理論編）
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 イントロダクション 2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 5 乳幼児の運動能力の発達② 6 幼児の運動能力① 7 前期中間考査 8 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定① 10 体力の構造と測定② 11 形態の発育① 12 形態の発育② 13 前期内容まとめ 14 前期期末考査 15 機能の発達① 16 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化① 19 運動能力構造の変化② 20 身体発達に影響する要因と問題 21 後期中間試験 22 生活習慣病 23 現代の健康問題① 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 老化② 27 後期内容まとめ 28 後期期末考査 29 運動指導の科学① 30 運動指導の科学②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会生活とスポーツの結びつきについての学びを深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ社会学の範囲の内容を理解させる
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア 7 前期中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 まとめ 15 前期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識ついて理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JAFA-GFI共通筆記試験範囲の知識を身につける
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 フィットネス概論 3 運動器の基礎解剖学① 4 運動器の基礎解剖学② 5 運動器の基礎解剖学③ 6 運動生理学① 7 運動生理学② 8 運動生理学③ 9 前期中間考査対策 10 前期中間考査 11 体力学・トレーニング科学・運動処方① 12 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 18 前期期末考査対策 19 前期期末考査 20 グループエクササイズ① 21 グループエクササイズ② 22 グループエクササイズ③ 23 後期中間考査対策 24 後期中間考査 25 対策問題演習① 26 対策問題演習② 27 対策問題演習③ 28 後期期末考査 29 対策問題演習④ 30 対策問題演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識、実技スキルを身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	レジスタンスエクササイズインストラクターの資格試験の合格レベルまで到達させる
教科書	レジスタンスエクサイズ指導理論
特記	
授業計画	1 骨格筋の機能解剖学(座学) 2 レジスタンスエクササイズの基本の動き(筆記) 3 レジスタンスエクササイズの基本の動き①(実技) 4 レジスタンスエクササイズの基本の動き②(実技) 5 レジスタンスエクササイズの基本の動き③(実技) 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 骨格筋の解剖生理学(筆記) 9 レジスタンスエクササイズの基礎知識①(筆記) 10 レジスタンスエクササイズの基礎知識②(筆記) 11 レジスタンスエクササイズのインストラクション①(実技) 12 レジスタンスエクササイズのインストラクション②(実技) 13 レジスタンスエクササイズのインストラクション③(実技) 14 レジスタンスエクササイズのインストラクション④(実技) 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ストレッチングエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識、実技スキルを身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ストレッチングエクササイズインストラクターの資格試験の合格レベルまで到達させる
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 ストレッチング① 2 ストレッチング② 3 ストレッチングエクササイズの基本の動き(筆記) 4 ストレッチングエクササイズの基本の動き①(実技) 5 ストレッチングエクササイズの基本の動き②(実技) 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 骨格筋の解剖生理学(筆記) 9 ストレッチングエクササイズの基礎知識①(筆記) 10 ストレッチングエクササイズの基礎知識②(筆記) 11 ストレッチングエクササイズのインストラクション①(実技) 12 ストレッチングエクササイズのインストラクション②(実技) 13 ストレッチングエクササイズのインストラクション③(実技) 14 ストレッチングエクササイズのインストラクション④(実技) 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択C
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	テキストでダイビングの基礎的知識を理解し、実習に知識の実践と習得を図る
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	マリンスポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ダイバーに必要な基礎知識1（水圧と空気の体積の影響） 2 ダイバーに必要な基礎知識2（水中でのものの見え方・音の聞こえ方） 3 ダイバーに必要な基礎知識3（ダイビングの環境） 4 ダイバーに必要な基礎知識4（ダイビングと健康管理） 5 トラブルの管理 6 器材について1（選び方と手入れ） 7 器材について2（ウェット/ドライスーツ・水面シグナル器材） 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル1（スクーバキットのセッティング） 10 ダイバーとしてのスキル2（マスククリア・マスク脱着） 11 ダイバーとしてのスキル3（中性浮力） 12 ダイバーとしてのスキル4（潜降と浮上・ハンドシグナル） 13 ダイバーとしてのスキル5（緊急時の対処法） 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	野外活動を通し、その技術を習得すると共に、地域社会への貢献についての理解を深める
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャンプ指導者に必要な知識と技術を理解・習得させる
教科書	キャンプ指導者入門
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 キャンプの特性1（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性2（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの特性3（キャンプと環境教育） 4 キャンプの対象1（人間の心身の理解） 5 キャンプの対象2（自然環境の理解） 6 キャンプの指導1（キャンプインストラクターの資質と役割） 7 キャンプの指導2（指導者のためのコミュニケーションスキル） 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 上記内容に関する確認考査 10 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 11 キャンプに必要な生活技術1（テント設営） 12 キャンプに必要な生活技術2（アウトドアクッキング） 13 キャンプに必要な生活技術3（ロープワーク） 14 キャンプで行う4つのアクティビティ 15 上記内容に関する考査
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択C
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スキーの基礎技術の習得に向け反復練習を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ウィンタースポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 スキーの現状 2 器具の選び方、セッティングと着用方法 3 基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行 4 停止と安全な転び方 5 スキーにおける身体の使い方 6 プルークボーゲンでの滑走（基礎） 7 プルークボーゲンでの滑走（応用） 8 ターン基礎1（緩斜面でのパラレルターン） 9 ターン基礎2（緩斜面でのシュテムターン） 10 ターン応用1（中斜面でのパラレルターン） 11 ターン応用2（中斜面でのシュテムターン） 12 ターン応用3（中急斜面でのパラレルターン） 13 スキーヤーとしてのルールとマナー 14 実技試験 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択C
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スノーボードの基礎技術の習得に向け反復練習を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ウィンタースポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 スノーボードの現状 2 セッティングと着用方法、スタンスの確認 3 基本姿勢 4 体重のかけ方 5 安全な転び方 6 スケーティング 7 スケーティングでの方向転換 8 ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身） 9 ターン基礎1（緩斜面での停止・連続ターン） 10 ターン基礎2（緩斜面でのロングターン・ミドルターン） 11 ターン応用1（中斜面でのショートターン・カービングターンロング） 12 ターン応用2（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング） 13 スノーボーダーにおけるルールとマナー 14 実技試験 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメント
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択C
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識と技術を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	フィットネスマネジメントクラブ・マネジメント技能検定３級合格を目指す
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 フィットネス産業① 2 フィットネス産業② 3 健康づくり① 4 健康づくり② 5 運動・トレーニングの基礎① 6 運動・トレーニングの基礎② 7 店舗運営① 8 店舗運営② 9 顧客マネジメント① 10 顧客マネジメント② 11 チームワークとコミュニケーション 12 施設・設備管理の意義と重要性 13 安全衛生、過去問題演習 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択C
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 有酸素性運動①　プログラミング 2 有酸素性運動②　プログラムの進行 3 有酸素性運動③　機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点 4 有酸素性運動④　有酸素性運動の選択と指導上の留意点 5 レジスタンス運動①　安全性と効果 6 レジスタンス運動②　負荷設定法、負荷強度、反復回数 7 レジスタンス運動③　レジスタンス運動の種類 8 まとめ 9 前期中間考査 10 ケーススタディによるプログラム作成① 11 ケーススタディによるプログラム作成② 12 ケーススタディによるプログラム作成③ 13 ケーススタディによるプログラム作成④ 14 ケーススタディによるプログラム作成⑤ 15 前期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニング方法と筋力の土台づくりを行うことができる
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術の習得を行う
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（レジスタンス運動の分類、アイソトニックトレーニングの実際） 2 フリーウエイトトレーニング実践① 3 フリーウエイトトレーニング実践② 4 フリーウエイトトレーニング実践③ 5 アイソメトリックトレーニング実践① 6 アイソメトリックトレーニング実践② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング実践① 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング実践② 11 サーキットトレーニング実践 12 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎と実践① 13 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎と実践② 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル(ペアストレッチ、トレーニング補助法)を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（マンツーマン指導とグループ指導の違いについて） 2 パーソナルトレーニングの補助テクニック① 3 パーソナルトレーニングの補助テクニック② 4 パーソナルトレーニングの補助テクニック③ 5 パーソナルストレッチ基礎① 6 パーソナルストレッチ基礎② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自体重トレーニングの補助法・負荷法① 10 自体重トレーニングの補助法・負荷法② 11 ウォームアップとクールダウン 12 パーソナルトレーニングのプログラミング基礎 13 パーソナルトレーニングのプログラミング応用 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術の習得を行う
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法） 2 フリーウエイトトレーニング指導・補助法① 3 フリーウエイトトレーニング指導・補助法② 4 フリーウエイトトレーニング指導・補助法③ 5 アイソメトリックトレーニング指導・補助法① 6 アイソメトリックトレーニング指導・補助法② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法① 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法② 11 サーキットトレーニング指導・補助法 12 レジスタンストレーニングのプログラミング指導① 13 レジスタンストレーニングのプログラミング指導② 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅠ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	評価方法と評価法を活用したリハビリプログラムの作成方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的なアスリハプログラムの理解、作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 アスレティックリハビリテーション概論 2 アスリハにおける評価の流れ①　ROM検査 3 アスリハにおける評価の流れ②　MMT 4 アスリハにおける評価の流れ③　整形外科的テスト 5 アスリハにおける評価の流れ④　触診　上肢 6 アスリハにおける評価の流れ⑤　触診　下肢 7 アスリハにおける評価の流れ⑥　触診　脊柱と体幹 8 後期中間考査 9 アスリハのプログラム作成の実際①　治癒過程、物理療法、徒手療法の理解 10 アスリハのプログラム作成の実際②　関節可動域訓練 11 アスリハのプログラム作成の実際③　筋力強化訓練1 12 アスリハのプログラム作成の実際④　筋力強化訓練2 13 アスリハのプログラム作成の実際⑤　全身持久力、敏捷性、バランス訓練 14 アスリハのプログラム作成の実際⑥　時期による段階的なアスリハ、1日の流れ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメントⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識と技術の実技を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、実技の定着を図る
達成目標	フィットネスマネジメントクラブ・マネジメント技能検定３級実技試験合格を目指す
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 実技演習① 2 実技演習② 3 実技演習③ 4 実技演習④ 5 実技演習⑤ 6 実技演習⑥ 7 実技演習⑦ 8 実技演習⑧ 9 実技演習⑨ 10 実技演習⑩ 11 効果測定 12 練習問題① 13 練習問題② 14 練習問題③ 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導ができるようになる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング基礎①　ウォームアップとクールダウン 3 レッスンプログラミング基礎②　筋コンディショニング 4 レッスンプログラミング基礎③　その他ツール使用方法 5 レッスンプログラミング基礎④　カウントとキューイング 6 レッスンプログラミング基礎⑤　モデルレッスン作成 7 レッスンプログラミング基礎⑥　モデルレッスン実践 8 後期中間考査 9 特殊な対象への運動指導時の留意点① 10 特殊な対象への運動指導時の留意点② 11 エクササイズ実践① 12 エクササイズ実践② 13 エクササイズ実践③ 14 エクササイズ実践④ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を身につける
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（ダンスジャンルの紹介、デモレッスン） 2 基本エクササイズ、テクニックレクチャー① 3 基本エクササイズ、テクニックレクチャー② 4 基本エクササイズ、テクニックレクチャー③ 5 基本エクササイズ、テクニックレクチャー④ 6 基本エクササイズ、テクニックレクチャー⑤ 7 基本エクササイズ、テクニックレクチャー⑥ 8 前期期末考査 9 ダンスフェスティバルチーム練習① 10 ダンスフェスティバルチーム練習② 11 ダンスフェスティバルチーム練習③ 12 ダンスフェスティバルチーム練習④ 13 ダンスフェスティバルチーム練習⑤ 14 ダンスフェスティバルチーム練習⑥ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得させる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 幼児の発達の様相1（発達の一般的傾向） 2 幼児の発達の様相2（幼児期における身体的発達の意義） 3 幼児期における「利き手」の発達 4 幼児における動機づけと目標 5 学習の最適期について(レディネス) 6 学習の最適期について(臨界期) 7 運動(技能)学習の過程1（学習曲線） 8 運動(技能)学習の過程2（潜在的学習期） 9 運動(技能)学習の過程3（学習の初期） 10 運動(技能)学習の過程4（高原期と飛躍期） 11 運動(技能)学習の過程5（完成期） 12 学習方法について（全習法） 13 学習方法について（分習法） 14 教育の６原則 15 上記内容の確認考査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者実践
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース、スポーツビジネスコース、スポーツ公務員コース
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実習をもとに、適切な幼児指導の実践的な基礎を身に付けさせる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 実技講習の意義 2 リズム体操1（やさい体操） 3 リズム体操2（やさい体操） 4 マット運動1（前転・後転） 5 マット運動2（前転・後転の補助） 6 マット運動3（ブリッジ実演と補助） 7 ゲームあそび 8 跳び箱（開脚跳び） 9 跳び箱（開脚跳びの横補助・後ろ補助） 10 なわとび（前とび・拍子とび） 11 なわとび（なわの指導法・結び方） 12 ボールを使った指導法 13 基本運動1（低い姿勢の運動・立位の運動） 14 基本運動2（バランス・体支持の運動） 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目　選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定２級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 反対語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	必須
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキストおよび参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 テーブルの作成① 4 テーブルの作成② 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用してのデータ集計③ 8 関数を使用してのデータ集計④ 9 関数を使用しての条件付き計算① 10 関数を使用しての条件付き計算② 11 関数を使用しての条件付き計算③ 12 関数を使用して文字列を整形、変更① 13 関数を使用して文字列を整形、変更② 14 関数を使用して文字列を整形、変更③ 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定および授業への参加姿勢による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目　選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 ＫＪ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｄ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学（主に整形外科的傷害）の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 運動中止の判定 2 内科的な急性障害、慢性障害 3 救急処置① 4 救急処置② 5 整形外科的傷害と外科的救急処置 6 前期中間考査 7 スポーツ傷害とは 8 足部・足関節の傷害 9 下腿部の傷害 10 膝関節の傷害 11 大腿部の傷害 12 腰部の傷害 13 肩関節の傷害 14 肘関節・手関節の傷害 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｄ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの健康づくり施策概論の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	1 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① 2 わが国の現状と健康づくり施策② 3 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 4 メディカルチェック 5 前期中間考査対策 6 前期中間考査 7 体力の概念① 8 体力の概念② 9 体力の要素と体力モデル① 10 体力の要素と体力モデル② 11 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング 12 前期期末考査対策 13 前期期末考査 14 問題演習① 15 問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動処方
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全にかつ効果的な運動プログラムを立案できる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト、JATIテキストの運動処方の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 メディカルチェックについて 2 健康の維持増進のための身体活動基準2013、健康づくりのためのトレーニングの原則 3 健康づくりのための運動プログラムの作成上のポイント、健康づくりと運動プログラム作成の基礎 4 ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 5 レジスタンス運動 6 前期中間考査 7 トレーニング計画の立案① 8 トレーニング計画の立案② 9 トレーニング計画の立案③ 10 筋力トレーニングのプログラム作成① 11 筋力トレーニングのプログラム作成② 12 筋力トレーニングのプログラム作成③ 13 筋力トレーニングのプログラム作成④ 14 筋力トレーニングのプログラム作成⑤ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｄ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 健康づくり施策概論① 2 健康づくり施策概論② 3 健康づくり施策概論③ 4 運動生理学① 5 運動生理学② 6 機能解剖とバイオメカニクス① 7 機能解剖とバイオメカニクス② 8 前期中間考査 9 栄養摂取と運動① 10 栄養摂取と運動② 11 体力測定と評価① 12 体力測定と評価② 13 健康づくりと運動プログラム① 14 健康づくりと運動プログラム② 15 前期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキストおよび参考書
特記	
授業計画	1 グラフの作成① 2 グラフの作成② 3 グラフの書式設定 4 オブジェクトの挿入や書式設定 5 テーブルの作成、管理① 6 テーブルの作成、管理② 7 テーブルのスタイル設定、オプション管理① 8 テーブルのスタイル設定、オプション管理② 9 テーブルのフィルター、並べ替え① 10 テーブルのフィルター、並べ替え② 11 データのアウトラインを作成 12 小計の挿入 13 MOS検定模擬試験 14 MOS検定模擬試験 15 MOS検定模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定および授業への参加姿勢による総合評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインＶ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職した際に必要となる知識や技術の習得を図る
授業の進め方	各種資料による講義と演習により、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	就職した際に必要となる資格や知識を学習し、希望する分野への就職を目標とする
教科書	配布プリント
特記	
授業計画	1 スポーツキャリア演習① 2 スポーツキャリア演習② 3 スポーツキャリア演習③ 4 スポーツキャリア演習④ 5 スポーツキャリア演習⑤ 6 スポーツキャリア演習⑥ 7 スポーツキャリア演習⑦ 8 スポーツキャリア演習⑧ 9 スポーツキャリア演習⑨ 10 スポーツキャリア演習⑩ 11 スポーツキャリア演習⑪ 12 スポーツキャリア演習⑫ 13 スポーツキャリア演習⑬ 14 スポーツキャリア演習⑭ 15 スポーツキャリア演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	バイオメカニクス
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 身体運動に関係する筋と骨① 2 身体運動に関係する筋と骨② 3 単関節・多関節運動 4 筋健複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式① 5 筋健複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式② 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 着地衝撃とその緩和法 9 投動作と打動作の共通点 10 運動と流体力① 11 運動と流体力② 12 前期期末考査対策 13 前期期末考査 14 バイオメカニクスの基礎理論① 15 バイオメカニクスの基礎理論② 16 バイオメカニクスの基礎理論③ 17 バイオメカニクスの基礎理論④ 18 バイオメカニクスの基礎理論⑤ 19 後期中間考査対策 20 後期中間考査 21 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス① 22 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス② 23 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス③ 24 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス④ 25 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑤ 26 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑥ 27 後期期末考査対策 28 後期期末考査 29 JATI対策検定 30 JATI対策検定
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学（主に内科、生活習慣病）の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 生活習慣病予防と身体活動・運動 2 肥満① 3 肥満② 4 糖尿病① 5 糖尿病② 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 脂質異常症① 9 脂質異常症② 10 高血圧症① 11 高血圧症② 12 まとめ 13 後期中間考査対策 14 後期中間考査 15 問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	測定評価
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動指導の測定評価の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実践編）
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 無酸素能力の測定、有酸素能力の測定（実技） 2 最大酸素摂取量の測定、無酸素性閾値 3 体脂肪量の測定（実技） 4 新体力テスト①（実技） 5 新体力テスト②（実技） 6 新体力テスト③ 7 健康づくりのための運動指針２００６、体力テストの評価 8 中間考査 9 トレーニング効果の測定と評価の実際① 10 トレーニング効果の測定と評価の実際② 11 トレーニング効果の測定と評価の実際③ 12 測定データの活用とフィードバック準備① 13 測定データの活用とフィードバック準備② 14 測定データの活用とフィードバック準備③ 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アスリートを対象とした身体活動・運動実践が心身に与える影響について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATIテキストの運動指導の心理学的基礎の範囲の内容を理解させる
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	1 運動と心理に関する基礎理論① 2 運動と心理に関する基礎理論② 3 運動と心理に関する基礎理論③ 4 スポーツ選手の競技力向上への活用① 5 スポーツ選手の競技力向上への活用② 6 スポーツ選手の競技力向上への活用③ 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ｖ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識の習得及びプログラムの立案、作成を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	1 ウォームアップとクールダウン① 2 ウォームアップとクールダウン② 3 トレーニング実践　柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム① 4 トレーニング実践　柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム② 5 トレーニング実践　柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム③ 6 トレーニング実践　柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際① 7 トレーニング実践　柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際② 8 前期中間考査 9 トレーニング実践　トレーニング計画の立案① 10 トレーニング実践　トレーニング計画の立案② 11 トレーニング実践　トレーニング計画の立案③ 12 トレーニング実践　特別な対象のためのトレーニングプログラム① 13 トレーニング実践　特別な対象のためのトレーニングプログラム② 14 トレーニング実践　特別な対象のためのトレーニングプログラム③ 15 前期期末考査 16 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成① 17 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成② 18 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 19 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの実際① 20 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの実際② 21 トレーニング実践　スピード向上トレーニングの実際③ 22 後期中間考査 23 トレーニング実践　トレーニングの運営① 24 トレーニング実践　トレーニングの運営② 25 トレーニング実践　トレーニングの運営③ 26 トレーニング実践　運動指導のための情報収集と活用① 27 トレーニング実践　運動指導のための情報収集と活用② 28 トレーニング実践　運動指導のための情報収集と活用③ 29 後期期末考査 30 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ジョグ＆ウォーク
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なウォーキングとジョギング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性 2 ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度（実技） 3 ウォーキングとジョギングのエネルギー消費量（実技） 4 ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点（実技） 5 ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法 6 ウォーキングとジョギングのプログラム（実技） 7 中間考査 8 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成① 9 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成② 10 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 11 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 12 持久力向上トレーニングの実際① 13 持久力向上トレーニングの実際② 14 持久力向上トレーニングの実際③ 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	陸上運動
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストのエアロビクス・レジスタンスの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作 2 エアロビックダンス実践①（課題動作、フォーム確認） 3 エアロビックダンス実践②（観察・修正・指導の循環） 4 エアロビックダンス実践③（反復練習） 5 レジスタンス実践④（課題動作、フォーム確認） 6 レジスタンス実践⑤（観察・修正・指導の循環） 7 レジスタンス実践⑥（反復練習） 8 中間考査 9 エアロビックダンス・レジスタンス実践⑦（指導練習） 10 エアロビックダンス・レジスタンス実践⑧（指導練習） 11 エアロビックダンス・レジスタンス実践⑨（指導練習） 12 エアロビックダンス・レジスタンス実践⑩（指導練習） 13 エアロビックダンス・レジスタンス実践⑪（指導練習） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 水中運動実践①（アクアダンスの指導法） 2 水中運動実践②（アクアダンスの指導法） 3 水中運動実践③（アクアダンスの指導法） 4 水中運動実践④（アクアダンスの指導法） 5 水中運動実践⑤（アクアダンスの指導法） 6 水中運動実践⑥（アクアダンスの指導法） 7 水中運動実践⑦（アクアダンスの指導法） 8 中間考査 9 水中運動実践⑧（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 10 水中運動実践⑨（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 11 水中運動実践⑩（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 12 水中運動実践⑪（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 13 水中運動実践⑫（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動指導の心理学的基礎① 2 運動指導の心理学的基礎② 3 健康づくり運動の実際①　ウォームアップとクールダウン、ストレッチング 4 健康づくり運動の実際②　ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス 5 健康づくり運動の実際③　水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ 6 運動障害と予防・救急処置① 7 運動障害と予防・救急処置② 8 前期中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 問題演習⑥ 15 前期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を理解させる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解させる
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	
授業計画	1 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成① 2 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成② 3 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成③ 4 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成④ 5 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑤ 6 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑥ 7 中間考査① 8 上肢（関節） 9 上肢（神経と血管①） 10 上肢（神経と血管②） 11 上肢（筋①） 12 上肢（筋②） 13 上肢（筋③） 14 期末考査① 15 下肢（骨、関節、筋肉） 16 下肢（神経と動脈） 17 下肢（股関節の筋①） 18 下肢（股関節の筋②） 19 下肢（足関節の筋①） 20 下肢（足関節の筋②） 21 中間考査② 22 問題演習① 23 問題演習② 24 問題演習③ 25 問題演習④ 26 問題演習⑤ 27 問題演習⑥ 28 問題演習⑦ 29 問題演習⑧ 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を身につける
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	1 呼吸循環系　エネルギー代謝の基礎的情報① 2 呼吸循環系　エネルギー代謝の基礎的情報② 3 呼吸循環系　運動とエネルギー代謝① 4 呼吸循環系　運動とエネルギー代謝② 5 呼吸循環系　トレーニングとエネルギー代謝① 6 呼吸循環系　トレーニングとエネルギー代謝② 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　骨格筋の形態と機能① 10 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　骨格筋の形態と機能② 11 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋力発揮のメカニズム① 12 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋力発揮のメカニズム② 13 前期期末考査対策 14 前期期末考査 15 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋・神経系に対するトレーニング効果① 16 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋・神経系に対するトレーニング効果② 17 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　主な内分泌器官とホルモン① 18 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　主な内分泌器官とホルモン② 19 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　身体機能へのホルモンの作用① 20 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　身体機能へのホルモンの作用② 21 後期中間考査対策 22 後期中間考査 23 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋肥大におけるホルモンの役割① 24 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　筋肥大におけるホルモンの役割② 25 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　レジスタンストレーニングとホルモンの分泌① 26 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動　レジスタンストレーニングとホルモンの分泌② 27 後期期末考査対策 28 後期期末考査 29 JATI検定対策 30 JATI検定対策
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アクアエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、アクアエクササイズ指導理論
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果 2 水中運動実践①（水中レジスタンスの基本動作、運動強度） 3 水中運動実践②（水中レジスタンスのプログラミング） 4 水中運動実践③（水中レジスタンスの指導法） 5 水中運動実践④（水中レジスタンスの指導法） 6 水中運動実践⑤（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 7 水中運動実践⑥（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 8 中間考査 9 腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点 10 水中運動実践⑦（アクアダンスの基本動作） 11 水中運動実践⑧（アクアダンスの運動強度） 12 水中運動実践⑨（アクアダンスのプログラミング） 13 水中運動実践⑩（アクアダンスのコリオグラフィー） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅡ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	エアロビクスのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストのエアロビクスの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、エアロビックダンスエクササイズの指導理論
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 環境条件（音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床） 2 運動指導上の注意点、指導者の役割 3 エアロビックダンス実践①（プログラミング：運動強度） 4 エアロビックダンス実践②（プログラミング：つなぎ、コンビネーション） 5 エアロビックダンス実践③（プログラミング：安全性、リニア） 6 エアロビックダンス実践④（指導法：キューイング） 7 エアロビックダンス実践⑤（指導の循環） 8 中間考査 9 エアロビックダンス実践⑥（指導練習） 10 エアロビックダンス実践⑦（指導練習） 11 エアロビックダンス実践⑧（指導練習） 12 エアロビックダンス実践⑨（指導練習） 13 エアロビックダンス実践⑩（指導練習） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	JATI検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATI検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	1 体力学総論 2 機能解剖学①　上肢 3 機能解剖学②　脊柱と胸郭 4 機能解剖学③　下肢 5 バイオメカニクス①　基礎理論 6 バイオメカニクス②　スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス 7 運動生理学① 8 運動生理学② 9 前期中間考査 10 運動と栄養 11 運動と心理 12 運動と医学①　救急処置法、スポーツ選手の整形外科的傷害と予防 13 運動と医学②　生活習慣病とその予防 14 運動指導の科学 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	JATI検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATI検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	1 トレーニング指導者論 2 各種トレーニング法の理論とプログラム① 3 各種トレーニング法の理論とプログラム② 4 各種トレーニング法の理論とプログラム③ 5 各種トレーニング法の理論とプログラム④ 6 各種トレーニング法の理論とプログラム⑤ 7 後期中間考査 8 各種トレーニング法の実際① 9 各種トレーニング法の実際② 10 各種トレーニング法の実際③ 11 各種トレーニング法の実際④ 12 トレーニング効果の測定と評価① 13 トレーニング効果の測定と評価② 14 トレーニングの運営と情報収集と活用 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	JATI(理論編)範囲の一般科目検定試験に向けた演習授業を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	JATI(理論編)範囲の一般科目検定試験の合格レベル(70点以上)の到達できるように行う
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	1 問題演習① 2 問題演習② 3 問題演習③ 4 問題演習④ 5 問題演習⑤ 6 問題演習⑥ 7 問題演習⑦ 8 前期中間考査 9 問題演習⑧ 10 問題演習⑨ 11 問題演習⑩ 12 問題演習⑪ 13 問題演習⑫ 14 問題演習⑬ 15 前期期末考査 16 問題演習⑭ 17 問題演習⑮ 18 問題演習⑯ 19 問題演習⑰ 20 問題演習⑱ 21 問題演習⑲ 22 後期中間考査 23 問題演習⑳ 24 問題演習㉑ 25 問題演習㉒ 26 問題演習㉓ 27 問題演習㉔ 28 問題演習㉕ 29 後期期末考査 30 検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｅ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験に向けた演習授業を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験の合格レベル(70点以上)の到達できるように行う
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	1 問題演習① 2 問題演習② 3 問題演習③ 4 問題演習④ 5 問題演習⑤ 6 問題演習⑥ 7 問題演習⑦ 8 前期中間考査 9 問題演習⑧ 10 問題演習⑨ 11 問題演習⑩ 12 問題演習⑪ 13 問題演習⑫ 14 問題演習⑬ 15 前期期末考査 16 問題演習⑭ 17 問題演習⑮ 18 問題演習⑯ 19 問題演習⑰ 20 問題演習⑱ 21 問題演習⑲ 22 後期中間考査 23 問題演習⑳ 24 問題演習㉑ 25 問題演習㉒ 26 問題演習㉓ 27 問題演習㉔ 28 問題演習㉕ 29 後期期末考査 30 検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅡ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々な対象に対して筋、筋膜のアプローチが行えるようにする
教科書	ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（セルフモニタリングのやり方について） 2 解剖学①　表層筋 3 解剖学②　深層筋 4 表層筋へのアプローチ① 5 表層筋へのアプローチ② 6 表層筋へのアプローチ③ 7 深層筋へのアプローチ① 8 深層筋へのアプローチ② 9 深層筋へのアプローチ③ 10 後期中間考査 11 様々な対象へのアプローチ① 12 様々な対象へのアプローチ② 13 様々な対象へのアプローチ③ 14 様々な対象へのアプローチ④ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を指導を通じて伝達する。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導ができるようになる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング応用①　ウォームアップとクールダウン指導 3 レッスンプログラミング応用②　筋コンディショニング指導 4 レッスンプログラミング応用③　その他ツール使用の指導 5 レッスンプログラミング応用④　カウントとキューイング指導 6 レッスンプログラミング応用⑤　モデルレッスン作成指導 7 レッスンプログラミング応用⑥　モデルレッスン実践指導 8 後期中間考査 9 特殊な対象への運動指導時の留意点① 10 特殊な対象への運動指導時の留意点② 11 エクササイズ指導① 12 エクササイズ指導② 13 エクササイズ指導③ 14 エクササイズ指導④ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を身につける
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（ダンスジャンルの紹介、デモレッスン） 2 応用エクササイズ、テクニックレクチャー① 3 応用エクササイズ、テクニックレクチャー② 4 応用エクササイズ、テクニックレクチャー③ 5 応用エクササイズ、テクニックレクチャー④ 6 応用エクササイズ、テクニックレクチャー⑤ 7 応用エクササイズ、テクニックレクチャー⑥ 8 前期期末考査 9 ダンスフェスティバルチーム練習① 10 ダンスフェスティバルチーム練習② 11 ダンスフェスティバルチーム練習③ 12 ダンスフェスティバルチーム練習④ 13 ダンスフェスティバルチーム練習⑤ 14 ダンスフェスティバルチーム練習⑥ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅵ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導ができるようになる
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（スピードの概念、基本動作） 2 体幹トレーニング概論① 3 体幹トレーニング概論② 4 スプリント実践①　スタート動作 5 スプリント実践②　減速動作 6 スプリント実践③　フリープログレっション 7 まとめ 8 後期中間考査 9 ジャンプ実践①　スクワット～スクワットジャンプ 10 ジャンプ実践②　連続ジャンプ～ターンジャンプへの応用 11 ラテラル動作①　サイドウォーク～サイドステップ 12 ラテラル動作②　切り返し動作 13 フリープログレっション応用　リニア～ラテラル　ラテラル～リニア 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅶ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（強度、頻度、回数の応用理論） 2 スロートレーニング① 3 スロートレーニング② 4 スロートレーニング③ 5 徒手抵抗トレーニング① 6 徒手抵抗トレーニング② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 バリスティックトレーニング① 10 バリスティックトレーニング② 11 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング③ 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅷ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（持久力に関する基礎理論） 2 適切なウォームアップとクールダウン 3 LSDトレーニング 4 ATペーストレーニング 5 タイムトライアル 6 ビルドアップ 7 ファルトレク 8 後期中間考査 9 インターバルトレーニング① 10 インターバルトレーニング② 11 レペティショントレーニング 12 レジスタンストレーニング及びプライオメトリクス 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 14 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育理論Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツトレーナーコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目　選択Ｆ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得させる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト　2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 幼児の発達の様相1（スカモンの発育曲線に見る運動の発達順序） 2 幼児の発達の様相2（乳幼児から幼児期への身体発達） 3 幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理） 4 幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ 5 学習の適時性1（臨界期とレディネス） 6 学習の適時性2（身体的心理面からの幼児の発達的特徴の理解） 7 学習曲線のタイプ別理解1（タイプA、B） 8 学習曲線のタイプ別理解2（タイプC、D、E） 9 運動(技能)学習の過程1（初期効果） 10 運動(技能)学習の過程2（高原現象について） 11 運動(技能)学習の過程3（学習の移転） 12 学習方法について（全習法と分習法の選択） 13 教育の６原則1（動機、目的、実習の原則について） 14 教育の６原則2（現実性、経験、関連性の原則） 15 上記内容の確認考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定３・４級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習１ 8 電卓総合演習２ 9 電卓総合演習３ 10 電卓総合演習４ 11 電卓総合演習５ 12 電卓総合演習６ 13 電卓総合演習７ 14 電卓総合演習８ 15 電卓総合演習９
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定１・２級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習１ 3 電卓実践演習２ 4 電卓実践演習３ 5 電卓実践演習４ 6 電卓実践演習５ 7 電卓実践演習６ 8 電卓実践演習７ 9 電卓実践演習８ 10 電卓実践演習９ 11 電卓実践演習１０ 12 電卓実践演習１１ 13 電卓実践演習１２ 14 電卓実践演習１３ 15 電卓実践演習１４
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース　スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 模擬効果測定準備 12 模擬効果測定 13 模擬効果測定結果検証 14 伝言を含む電話応対（講義１） 15 伝言を含む電話応対（練習１） 16 伝言を含む電話応対（講義２） 17 伝言を含む電話応対（練習２） 18 伝言を含む電話応対（実践練習１） 19 伝言を含む電話応対（実践練習２） 20 効果測定準備 21 効果測定 22 冠婚葬祭のマナー 23 郵便のマナー 24 電話での道案内 25 クレーム対応 26 ビジネスマナー総合１ 27 ビジネスマナー総合２ 28 ビジネスマナー総合３ 29 ビジネスマナー総合４ 30 ビジネスマナー総合５
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③ 31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 教育・住宅取得資金計画 2 社会保険 3 老後の生活資金設計と公的年金 4 公的年金における障害給付・遺族給付 5 公的年金制度の共通事項 6 企業年金・自営業者のための年金 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 教育・住宅取得資金計画（応用） 17 社会保険（応用）① 18 社会保険（応用）② 19 老後の生活資金設計と公的年金（応用）① 20 老後の生活資金設計と公的年金（応用）② 21 公的年金における障害給付（応用） 22 公的年金における遺族給付（応用） 23 企業年金・自営業者のための年金（応用） 24 ライフプランニングの考え方 25 中小法人の資金計画・決算書の分析 26 まとめ　総復習（応用） 27 まとめ　総復習（応用） 28 まとめ　総復習（応用） 29 まとめ　総復習（応用） 30 項目別模擬試験（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 生命保険の概略 2 生命保険商品の種類と内容 3 損害保険商品の種類と内容 4 個人の契約に関する税金 5 法人の契約に関する税金 6 第三分野の保険・共済 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 生命保険の概略（応用） 17 生命保険商品の種類と内容（応用）① 18 生命保険商品の種類と内容（応用）② 19 生命保険商品の種類と内容（応用）③ 20 損害保険商品の種類と内容（応用）① 21 損害保険商品の種類と内容（応用）② 22 個人の契約に関する税金（応用）① 23 個人の契約に関する税金（応用）② 24 法人の契約に関する税金（応用） 25 第三分野の保険・共済（応用） 26 まとめ　総復習（応用） 27 まとめ　総復習（応用） 28 まとめ　総復習（応用） 29 まとめ　総復習（応用） 30 項目別模擬試験（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 マーケット環境の理解 2 預貯金等 3 債券 4 株式 5 投資信託 6 ポートフォリオ運用・セーフティネット・関連法規 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 マーケット環境の理解（応用） 17 預貯金等（応用）① 18 預貯金等（応用）②、債券（応用）① 19 債券（応用）②、株式（応用）① 20 株式（応用）② 21 投資信託（応用）① 22 投資信託（応用）② 23 金融派生商品（応用）、ポートフォリオ（応用）① 24 ポートフォリオ（応用）②、金融商品と税金（応用） 25 セーフティネット（応用）、関連法規（応用） 26 まとめ　総復習（応用） 27 まとめ　総復習（応用） 28 まとめ　総復習（応用） 29 まとめ　総復習（応用） 30 項目別模擬試験（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 各種所得の内容① 2 各種所得の内容② 3 課税標準の計算 4 所得控除① 5 所得控除② 6 確定申告 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 所得税の仕組み（応用）、各種所得の内容（応用）① 17 各種所得の内容（応用）②、課税標準の計算（応用） 18 所得控除（応用）① 19 所得控除（応用）② 20 税額控除（応用） 21 確定申告（応用） 22 法人税① 23 法人税② 24 法人税③ 25 消費税 26 まとめ　総復習（応用） 27 まとめ　総復習（応用） 28 まとめ　総復習（応用） 29 まとめ　総復習（応用） 30 項目別模擬試験（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 不動産の見方 2 不動産の取引① 3 不動産の取引② 4 不動産に関する法令上の制限① 5 不動産に関する法令上の制限② 6 不動産に係る税金 7 不動産の有効活用 8 項目別答練① 9 項目別答練② 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 不動産の見方（応用） 17 不動産の取引（応用）① 18 不動産の取引（応用）② 19 不動産の取引（応用）③、不動産に関する法令上の制限（応用）① 20 不動産に関する法令上の制限（応用）② 21 不動産に係る税金（応用）① 22 不動産に係る税金（応用）② 23 不動産の有効活用（応用） 24 まとめ　総復習（応用） 25 まとめ　総復習（応用） 26 まとめ　総復習（応用） 27 まとめ　総復習（応用） 28 まとめ　総復習（応用） 29 まとめ　総復習（応用） 30 項目別模擬試験（応用）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続と法律 2 贈与と法律 3 贈与と税金 4 相続と税金 5 財産の評価（不動産） 6 財産の評価(金融資産) 7 相続・事業承継対策 8 項目別答練① 9 項目別答練② 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練（応用）① 2 項目別答練（応用）② 3 項目別答練（応用）③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練（応用）① 2 項目別答練（応用）② 3 項目別答練（応用）③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練（応用）① 2 項目別答練（応用）② 3 項目別答練（応用）③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練（応用）① 2 項目別答練（応用）② 3 項目別答練（応用）③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練（応用）① 2 項目別答練（応用）② 3 項目別答練（応用）③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続と法律（応用）、贈与と法律（応用）、贈与と税金（応用） 2 相続と税金（応用）、財産の評価（不動産）（応用） 3 財産の評価(金融資産）（応用）、相続・事業承継対策（応用） 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融市場政策論
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義及び演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 金融の役割① 2 金融の役割② 3 金融の役割③ 4 各種金融市場① 5 各種金融市場② 6 各種金融市場③ 7 中央銀行の役割① 8 中央銀行の役割② 9 中央銀行の役割③ 10 中央銀行の役割④ 11 中央銀行の役割⑤ 12 中央銀行の役割⑥ 13 世界の中央銀行 14 総まとめ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	国際社会に関する基礎用語
	2～3	国際社会に関する事例学習
	4	経済に関する基礎用語
	5	経済に関する事例学習
	6	労働環境に関する基礎用語
	7	労働環境に関する事例学習
	8	経営に関する基礎用語
	9～10	経営に関する事例学習
	11	ＩＴ社会に関する基礎用語
	12～13	ＩＴ社会に関する事例学習
	14	ＡＩに関する基礎用語
	15	ＡＩに関する事例学習
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6 グループ討議① 7 グループ討議② 8 グループ討議③ 9 グループ討議④ 10 グループ討議⑤ 11 グループ討議⑥ 12 グループ討議⑦ 13 グループ討議⑧ 14 グループ討議⑨ 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経理職に適したスーツの着こなし 2 経理職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 経理職で良く聞かれる質疑応答① 5 経理職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 経理職職種研究① 7 経理職職種研究② 8 経理職職種研究③ 9 経理職職種研究④ 10 経理職職種研究⑤ 11 経理職への志望理由① 12 経理職への志望理由② 13 経理職への志望理由③ 14 経理職への志望理由④ 15 経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4･5	演習
	6･7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10･11	演習
	12･13	総合演習
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4･5	演習
	6･7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10･11	演習
	12･13	総合演習
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話応対のマナー
	2	電話の受け方の基本
	3	電話の受け方～道案内～
	4～6	演習
	7	電話のかけ方
	8～13	演習
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインＶ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別の電話応対
	2	状況別の応対方法
	3～5	演習
	6～8	電話応対練習①
	9	伝言の受け方
	10～12	演習
	13	電話応対練習②
	14･15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅥ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 状況別オフィスワーク 2 総合ロールプレイング 3 総合ロールプレイング 4 総合ロールプレイング 5 総合ロールプレイング 6 総合ロールプレイング 7 総合ロールプレイング 8 総合ロールプレイング 9 総合ロールプレイング 10 総合ロールプレイング 11 総合ロールプレイング 12 総合ロールプレイング 13 効果測定 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の種類・笑顔、お辞儀 2 正しい敬語の使い方 3 状況に応じた言葉遣い 4 演習① 5 演習② 6 効果測定① 7 効果測定② 8 応対の基本 9 名刺交換 10 演習① 11 演習② 12 総合演習① 13 総合演習② 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接客販売の心得 2 お客様の心理理解 3 接客用語 4 状況別の店内接客 5 状況別の店内接客 6 演習 7 演習 8 電話応対での問い合わせ 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅤ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習 6 演習 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅥ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品説明知識 2 好感を持たれる商品説明 3 演習 4 演習 5 クレームとは 6 電話でのクレーム応対方法 7 演習 8 演習 9 店内でのクレーム応対方法 10 演習 11 演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（１）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（１）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（１）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（１）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（１）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成（２）① 8 表、画像、図形を使った文書の作成（２）② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（２）③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 数式・関数を活用した集計表の作成① 5 数式・関数を活用した集計表の作成② 6 数式・関数を活用した集計表の作成③ 7 ワークシート間の集計① 8 ワークシート間の集計② 9 ワークシート間の集計③ 10 グラフの基本① 11 グラフの基本② 12 グラフの基本③ 13 目的に応じたグラフの作成と編集① 14 目的に応じたグラフの作成と編集② 15 目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ｖ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Word：MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す
教科書	問題集
特記	
	1 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの説明 2 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの練習 3 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの実践 4 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの振返り 5 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードの練習 6 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードのテスト 7 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードの振返り 8 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの説明 9 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの練習 10 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの実践 11 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの振返り 12 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードの練習 13 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードのテスト 14 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードの振返り 15 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの説明 16 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの練習 17 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの実践 18 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの振返り 19 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードの練習 20 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードのテスト 21 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードの振返り 22 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの説明 23 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの練習 24 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの実践 25 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの振返り 26 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードの練習 27 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードのテスト 28 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードの振返り 29 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの説明 30 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの練習 31 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの実践 32 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの振返り 33 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードの練習 34 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードのテスト 35 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードの振返り 36 MOS模擬テストWord2016　実力判定テストの実施 37 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの実践 38 MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの振返り

授業計画	39	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	40	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードの振返り
	41	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの実践
	42	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの振返り
	43	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	44	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードの振返り
	45	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの実践
	46	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの振返り
	47	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	48	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードの振返り
	49	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの実践
	50	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの振返り
	51	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	52	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードの振返り
	53	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの実践
	54	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの振返り
	55	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	56	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードの振返り
	57	MOS模擬テストWord2016　実力判定テストの実施
	58	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習モードの実践
	59	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	60	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　練習・本番モードの振返り
	61	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習モードの実践
	62	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	63	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　練習・本番モードの振返り
	64	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習モードの実践
	65	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	66	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　練習・本番モードの振返り
	67	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習モードの実践
	68	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	69	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　練習・本番モードの振返り
	70	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習モードの実践
	71	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	72	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　練習・本番モードの振返り
	73	MOS模擬テストWord2016　実力判定テストの実施
	74	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	75	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	76	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	77	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	78	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	79	MOS模擬テストWord2016　実力判定テストの実施
	80	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	81	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	82	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	83	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	84	MOS模擬テストWord2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	85	MOS模擬テストWord2016　実力判定テストの実施
	86	演習・復習日
	87	演習・復習日
	88	演習・復習日
	89	演習・復習日
	90	演習・復習日
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅵ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	１８０時間（６単位）
授業コマ数	９０コマ（１コマ９０分）
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excel：MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す
教科書	問題集
特記	
	1 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの説明 2 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの練習 3 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの実践 4 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの振返り 5 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードの練習 6 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードのテスト 7 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードの振返り 8 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの説明 9 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの練習 10 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの実践 11 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの振返り 12 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードの練習 13 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードのテスト 14 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードの振返り 15 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの説明 16 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの練習 17 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの実践 18 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの振返り 19 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードの練習 20 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードのテスト 21 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードの振返り 22 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの説明 23 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの練習 24 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの実践 25 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの振返り 26 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードの練習 27 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードのテスト 28 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードの振返り 29 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの説明 30 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの練習 31 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの実践 32 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの振返り 33 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードの練習 34 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードのテスト 35 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードの振返り 36 MOS模擬テストExcel2016　実力判定テストの実施 37 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの実践 38 MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの振返り

授業計画	39	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	40	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードの振返り
	41	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの実践
	42	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの振返り
	43	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	44	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードの振返り
	45	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの実践
	46	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの振返り
	47	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	48	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードの振返り
	49	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの実践
	50	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの振返り
	51	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	52	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードの振返り
	53	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの実践
	54	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの振返り
	55	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	56	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードの振返り
	57	MOS模擬テストExcel2016　実力判定テストの実施
	58	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習モードの実践
	59	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	60	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　練習・本番モードの振返り
	61	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習モードの実践
	62	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	63	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　練習・本番モードの振返り
	64	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習モードの実践
	65	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	66	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　練習・本番モードの振返り
	67	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習モードの実践
	68	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	69	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　練習・本番モードの振返り
	70	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習モードの実践
	71	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	72	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　練習・本番モードの振返り
	73	MOS模擬テストExcel2016　実力判定テストの実施
	74	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	75	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	76	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	77	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	78	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	79	MOS模擬テストExcel2016　実力判定テストの実施
	80	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	81	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	82	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	83	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	84	MOS模擬テストExcel2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	85	MOS模擬テストExcel2016　実力判定テストの実施
	86	演習・復習日
	87	演習・復習日
	88	演習・復習日
	89	演習・復習日
	90	演習・復習日
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅶ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	１２０時間（４単位）
授業コマ数	６０コマ（１コマ９０分）
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	PowerPoint：MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016ｴｷｽﾊﾟｰﾄの合格を目指す
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの説明 2 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの練習 3 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの実践 4 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの振返り 5 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　本番モードの練習 6 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　本番モードのテスト 7 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　本番モードの振返り 8 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの説明 9 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの練習 10 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの実践 11 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの振返り 12 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　本番モードの練習 13 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　本番モードのテスト 14 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　本番モードの振返り 15 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの説明 16 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの練習 17 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの実践 18 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの振返り 19 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　本番モードの練習 20 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　本番モードのテスト 21 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　本番モードの振返り 22 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの説明 23 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの練習 24 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの実践 25 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの振返り 26 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　本番モードの練習 27 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　本番モードのテスト 28 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　本番モードの振返り 29 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの説明 30 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの練習 31 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの実践 32 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの振返り 33 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　本番モードの練習 34 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　本番モードのテスト 35 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　本番モードの振返り 36 MOS模擬テストPowerPoint2016　実力判定テストの実施 37 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの実践 38 MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　練習モードの振返り

	39	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　本番モードのテスト
	40	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト1　本番モードの振返り
	41	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの実践
	42	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　練習モードの振返り
	43	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　本番モードのテスト
	44	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト2　本番モードの振返り
	45	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの実践
	46	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　練習モードの振返り
	47	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　本番モードのテスト
	48	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト3　本番モードの振返り
	49	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの実践
	50	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　練習モードの振返り
	51	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　本番モードのテスト
	52	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト4　本番モードの振返り
	53	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの実践
	54	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　練習モードの振返り
	55	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　本番モードのテスト
	56	MOS模擬テストPowerPoint2016　模擬テスト5　本番モードの振返り
	57	MOS模擬テストPowerPoint2016　実力判定テストの実施
	58	演習・復習日
	59	演習・復習日
	60	演習・復習日
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	**事務職の1日の流れ**
	2～4	**電話応対応用**
	5～7	**接遇の流れ**
	8～13	**演習（ロールプレイング）**
	14～15	**効果測定**
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間（２単位）
授業コマ数	３０コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）① 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業コマ数	４５コマ（１コマ９０分）
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤ 31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法②

	38	法人税法③
	39	法人税法④
	40	法人税法⑤
	41	法人税法⑥
	42	法人税法⑦
	43	法人税法⑧
	44	法人税法⑨
	45	法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツビジネスコース	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目　選択Ｇ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1)　四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2)　21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3)　声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1)　人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2)　基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう　年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用　こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現　動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現　場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する　人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替　「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	電話をする→「是～的」の構文・結果補語約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え＆歓迎会　連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語「得」
	15	別れを告げる＆総復習　仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 事例研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目　選択Ｇ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究			
実務家教員				
学部・学科	スポーツビジネスコース			
履修年次	２年次			
開講学期	後期			
科目区分	専門科目　選択Ｇ			
授業方法	講義・実習			
授業時間	１８０時間			
授業コマ数	９０コマ			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	業界分析①	61	仮説⑨
	2	情報収集①	62	調査・検証⑨
	3	店舗分析①	63	業界分析⑩
	4	店舗見学①	64	情報収集⑩
	5	課題抽出①	65	店舗分析⑩
	6	仮説①	66	店舗見学⑩
	7	調査・検証①	67	課題抽出⑩
	8	業界分析②	68	仮説⑩
	9	情報収集②	69	調査・検証⑩
	10	店舗分析②	70	企画案作成⑩
	11	店舗見学②	71	中間発表①
	12	課題抽出②	72	中間発表②
	13	仮説②	73	中間発表③
	14	調査・検証②	74	中間発表④
	15	業界分析③	75	中間発表⑤
	16	情報収集③	76	再検証①
	17	店舗分析③	77	再検証②
	18	店舗見学③	78	再検証③
	19	課題抽出③	79	再検証④
	20	仮説③	80	再検証⑤
	21	調査・検証③	81	最終発表①
	22	業界分析④	82	最終発表②
	23	情報収集④	83	最終発表③
	24	店舗分析④	84	最終発表④
	25	店舗見学④	85	最終発表⑤
	26	課題抽出④	86	代表によるコンテスト①
	27	仮説④	87	代表によるコンテスト②
	28	調査・検証④	88	代表によるコンテスト③
	29	業界分析⑤	89	代表によるコンテスト④
	30	情報収集⑤	90	代表によるコンテスト⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ｉ　数的推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式・不等式（方程式） 2 方程式・不等式（不定式、過不足算） 3 整数・計算パズル（約数と倍数、割り算の余り、整数の性質） 4 整数・計算パズル（数列、ｎ進法、その他、整数に関する問題） 5 割合と比（割合、比） 6 割合と比（売買算） 7 割合と比（濃度） 8 割合と比（濃度）、速さ（速さ） 9 速さ（旅人算） 10 速さ（通過算、流水算） 11 速さ（時計算）、仕事算（仕事算、給排水算） 12 仕事算（仕事算、給排水算、ニュートン算） 13 その他文章題（年齢算、平均算） 14 場合の数（場合の数、順列、重複組合せ、円順列） 15 確率（事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義１コマを実施

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅱ　判断推理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合）
	2	集合の要素（ベン図、キャロル表、交わりの最小値）
	3	順序（順序の確定、順序の変動）
	4	順序（順序の数値条件、時計のずれ）
	5	位置・方位（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	6	位置・方位（円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図）
	7	対応（対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	8	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）・うそつき
	9	暗号、推理・手順（他人の判断から判断する）
	10	推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ　空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相 2 平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 3 正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ） 4 立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断） 5 立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度） 6 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 7 平面図形の計量（相似比、面積比） 8 平面図形の計量（面積比、円） 9 平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量 10 立体図形の計量 11 資料解釈（実数、割合・指数・前年比） 12 資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅰ　政治
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅰ　地理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅱ　歴史	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	鎌倉時代
	4	室町時代
	5	封建社会の確立
	6	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	7	江戸時代（幕末）、明治維新
	8	立憲体制の確立
	9	近代文化の発展
	10	大正、昭和
	11	中国史１（殷～漢）
	12	中国史２（魏晋南北朝～隋、唐）
	13	中国史３（宋、元）
	14	中国史４（明、清）
	15	中国史５（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践言語Ⅰ　文理・国語
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語 2 要旨把握、四字熟語 3 内容合致、ことわざ 4 内容合致、ことわざ 5 文章整除、文法基礎 6 文章整除、文法基礎 7 文章の穴埋め、敬語 8 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅰ　数的処理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	２４時間	
授業コマ数	１２コマ	
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	数的推理総合演習
	2	数的推理総合演習
	3	数的推理総合演習
	4	科目試験１
	5	判断推理総合演習
	6	判断推理総合演習
	7	判断推理総合演習
	8	科目試験２
	9	図形・資料解釈総合演習
	10	図形・資料解釈総合演習
	11	図形・資料解釈総合演習
	12	科目試験３
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 科目試験１ 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合 14 科目試験２
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	４８時間
授業コマ数	２４コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実戦的なレベルの模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 警察官タイプの模擬試験１ 2 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１ 3 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験２ 4 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験３ 5 海上保安学校タイプの模擬試験 6 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験４ 7 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験５ 8 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験６ 9 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験７ 10 国家公務員タイプの模擬試験１ 11 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験８ 12 国家公務員タイプの模擬試験２ 13 国家公務員タイプの模擬試験３ 14 国家公務員タイプの模擬試験４ 15 国家公務員タイプの模擬試験５ 16 消防官タイプの模擬試験 17 地方公務員タイプの模擬試験１ 18 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験９ 19 警察官タイプの模擬試験２ 20 選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験 21 刑務官タイプの模擬試験 22 警察官タイプの模擬試験３ 23 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験１０ 24 地方公務員タイプの模擬試験２
成績評価方法 （試験実施方法）	第1回から第15回までは模擬試験の取り組み姿勢、第16回から第24回までは模擬試験成績にて評価
備考	基礎的なレベルの模擬試験として、一部過去問を含む場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	１０８時間
授業コマ数	５４コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1･2 実戦的なタイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説 3･4 実戦的なタイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 5･6 実戦的なタイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 7･8 実戦的なタイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 9･10 実戦的なタイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 11･12 実戦的なタイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説 13･14 国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説 15･16 実戦的なタイプの模擬試験７・当該模擬試験の解説 17･18 地方公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説 19･20 地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 21･22 地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 23･24 地方公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 25･26 国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 27･28 国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 29･30 国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 31･32 国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 33･34 消防官（中級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 35･36 消防官（初級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 37･38 地方公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 39･40 実戦的なタイプの模擬試験８・当該模擬試験の解説 41･42 警察官タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説 43･44 選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験・当該模擬試験の解説 45･46 刑務官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 47･48 実戦的なタイプの模擬試験９・当該模擬試験の解説 49･50 警察官タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 51･52 実戦的なタイプの模擬試験１０・当該模擬試験の解説 53･54 地方公務員タイプの模擬試験６・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治分野１） 2 時事（政治分野２） 3 時事（政治分野３） 4 時事（経済分野１） 5 時事（経済分野２） 6 時事（文化１） 7 時事（文化２） 8 時事（文化３） 9 時事（科学１） 10 時事（科学２） 11 時事（科学３） 12 時事（科学４） 13 時事（科学５） 14 時事（国際問題１） 15 時事（国際問題２）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	４０時間	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験練習１
	2	適性試験練習２
	3	適性試験練習３
	4	適性試験練習４
	5	適性試験練習５
	6	適性試験練習６
	7	適性試験練習７
	8	適性試験練習８
	9	適性試験練習９
	10	適性試験練習１０
	11	適性試験練習１１
	12	適性試験練習１２
	13	適性試験練習１３
	14	適性試験練習１４
	15	適性試験練習１５
	16	適性試験練習１６
	17	適性試験練習１７
	18	適性試験練習１８
	19	適性試験練習１９
	20	適性試験練習２０
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価	
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習１ 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習２ 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習３ 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習４ 6 作文練習１ 7 作文練習２ 8 作文練習３ 9 作文練習４ 10 作文練習５ 11 作文練習６ 12 作文練習７ 13 作文練習８ 14 作文練習９ 15 作文練習１０
成績評価方法 （試験実施方法）	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	物理・化学の基礎知識を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式、エネルギー 4 運動量、電気 5 波動 6 物質の構造１ 7 物質の構造２、物質の状態 8 物質の変化１ 9 物質の変化２ 10 無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅳ　数的総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式 2 方程式 3 整数・計算パズル 4 整数・計算パズル 5 割合と比 6 割合と比 7 速さ 8 速さ 9 仕事算 10 場合の数 11 確率 12 論理 13 集合の要素 14 順序 15 順序 16 位置・方位 17 対応 18 勝敗・うそつき 19 暗号、推理・手順 20 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 日本史（中世、近世Ⅰ） 2 日本史（近世Ⅱ、近代Ⅰ） 3 日本史（近代Ⅱ、現代、通史） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業、生活と地域） 6 地理（日本の地理） 7 地理（世界の地理） 8 世界史（東洋世界） 9 世界史（現代世界） 10 倫理（西洋思想） 11 倫理（東洋思想） 12 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ　生物・地学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ　物理・化学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト及びデジタルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造１ 9 物質の構造２ 10 物質の状態１ 11 物質の状態２ 12 物質の変化１ 13 物質の変化２ 14 無機化合物
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ　自然科学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	１６時間	
授業コマ数	８コマ	
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	デジタルテキスト（第1講～第2講）、スタンダード問題集（第3講～第8講）	
特記		
授業計画	1	数学基礎演習
	2	数学基礎演習
	3	生物総合演習
	4	物理総合演習
	5	物理総合演習
	6	化学総合演習
	7	化学総合演習
	8	地学総合演習・科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む5模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 地方公務員タイプの模擬試験１ 2 国家公務員タイプの模擬試験１ 3 地方公務員タイプの模擬試験２ 4 国家公務員タイプの模擬試験２ 5 国家公務員タイプの模擬試験３ 6 国家公務員タイプの模擬試験４ 7 消防官タイプの模擬試験１ 8 地方公務員タイプの模擬試験３ 9 実践的なレベルの模擬試験１ 10 警察官タイプの模擬試験１ 11 選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験 12 刑務官タイプの模擬試験 13 警察官タイプの模擬試験２ 14 実践的なレベルの模擬試験２ 15 地方公務員タイプの模擬試験４ 16 地方公務員タイプの模擬試験５ 17 消防官タイプの模擬試験２ 18 警察官タイプの模擬試験３ 19 地方公務員タイプの模擬試験６ 20 地方公務員タイプの模擬試験７ 21 地方公務員タイプの模擬試験８ 22 国家公務員タイプの模擬試験５ 23 国家公務員タイプの模擬試験６ 24 国家公務員タイプの模擬試験７ 25 国家公務員タイプの模擬試験８ 26 国家公務員タイプの模擬試験９ 27 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験１ 28 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験２ 29 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験３ 30 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験４ 31 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験５ 32 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験１ 33 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験２ 34 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験３ 35 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験４ 36 選択式（地方公務員２タイプ・消防官・裁判所）模擬試験５ 37 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験１ 38 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験２ 39 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験３ 40 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験４ 41 選択式（地方公務員２タイプ・刑務官）模擬試験 42 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験１ 43 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験２ 44 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験３ 45 地方公務員タイプの模擬試験９
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	１０２時間
授業コマ数	５１コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1･2 地方公務員タイプの模擬試験１ 2･3 地方公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 4･5 地方公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 6･7 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験１・当該模擬試験の解説 8･9 国家公務員タイプの模擬試験１・当該模擬試験の解説 10･11 国家公務員タイプの模擬試験２・当該模擬試験の解説 12･13 国家公務員タイプの模擬試験３・当該模擬試験の解説 14･15 国家公務員タイプの模擬試験４・当該模擬試験の解説 16･17 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験１・当該模擬試験の解説 18･19 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験２・当該模擬試験の解説 20･21 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験３・当該模擬試験の解説 22･23 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験４・当該模擬試験の解説 24･25 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験５・当該模擬試験の解説 26･27 国家公務員タイプの模擬試験５・当該模擬試験の解説 28･29 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験１・当該模擬試験の解説 30･31 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験２・当該模擬試験の解説 32･33 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験３・当該模擬試験の解説 34･35 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験４・当該模擬試験の解説 36･37 選択式（地方公務員２タイプ・警察官・自衛官）模擬試験・当該模擬試験の解説 38･39 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験２・当該模擬試験の解説 40･41 選択式（地方公務員２タイプ・警察官）模擬試験３・当該模擬試験の解説 42･43 選択式（地方公務員２タイプ・刑務官）模擬試験・当該模擬試験の解説 44･45 地方公務員タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 46･47 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験１・当該模擬試験の解説 48･49 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験２・当該模擬試験の解説 50･51 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験３・当該模擬試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	総合的なタイプの模擬試験１
	2	模擬試験１の解説
	3	総合的なレベルの模擬試験２
	4	模擬試験２の解説
	5	総合的なレベルの模擬試験３
	6	模擬試験３の解説
	7	総合的なレベルの模擬試験４
	8	模擬試験４の解説
	9	総合的なレベルの模擬試験５
	10	模擬試験５の解説
	11	総合的なレベルの模擬試験６
	12	模擬試験６の解説
	13	総合的なレベルの模擬試験７
	14	模擬試験７の解説
	15	総合的なレベルの模擬試験８
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	４０時間	
授業コマ数	２０コマ	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	憲法総論
	2	基本的人権総論
	3	包括的基本権
	4	法の下の平等
	5	思想良心の自由、信教の自由
	6	信教の自由、表現の自由
	7	表現の自由
	8	表現の自由、学問の自由
	9	職業選択の自由
	10	財産権
	11	人身の自由、社会権
	12	社会権、参政権、受益権
	13	国会
	14	内閣、裁判所
	15	裁判所
	16	財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義
	17	総合演習１
	18	総合演習２
	19	総合演習３
	20	総合演習４
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択I
授業方法	講義
授業時間	６４時間
授業コマ数	３２コマ
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買（１） 25 売買（２） 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	講義
授業時間	３８時間
授業コマ数	１９コマ
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法（取消訴訟） 14 行政事件訴訟法（取消訴訟） 15 行政事件訴訟法（その他抗告訴訟） 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察　テーマ１
	2	情報収集と考察　テーマ２
	3	情報収集と考察　テーマ３
	4	情報収集と考察　テーマ４
	5	情報収集と考察　テーマ５
	6	情報収集と考察　テーマ６
	7	情報収集と考察　テーマ７
	8	情報収集と考察　テーマ８
	9	情報収集と考察　テーマ９
	10	情報収集と考察　テーマ１０
	11	情報収集と考察　テーマ１１
	12	情報収集と考察　テーマ１２
	13	情報収集と考察　テーマ１３
	14	情報収集と考察　テーマ１４
	15	情報収集と考察　テーマ１５
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習１
	2	適性検査練習２
	3	適性検査練習３
	4	適性検査練習４
	5	適性検査練習５
	6	適性検査練習６
	7	適性検査練習７
	8	適性検査練習８
	9	適性検査練習９
	10	適性検査練習１０
	11	適性検査練習１１
	12	適性検査練習１２
	13	適性検査練習１３
	14	適性検査練習１４
	15	適性検査練習１５
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定1（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己PR作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12-13 集団討論対策 14 効果測定準備 15 面接効果測定2（中級効果測定） 16-23 職種別試験ガイダンス 24-25 官庁研究 26-27 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅰ） 31-32 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 23-35 模擬面接（試験種Ⅱ） 36-37 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 38-40 模擬面接（試験種Ⅲ） 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅳ）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	８試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 集団討論準備 28-30 集団討論 31-38 職種別試験ガイダンス 39-40 官庁研究 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅴ） 46-47 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 48-50 模擬面接（試験種Ⅵ） 51-52 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 53-55 模擬面接（試験種Ⅶ） 56-57 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅷ）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間	
授業コマ数	３０コマ	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験練習１
	2	適性試験練習２
	3	適性試験練習３
	4	適性試験練習４
	5	適性試験練習５
	6	適性試験練習６
	7	適性試験練習７
	8	適性試験練習８
	9	適性試験練習９
	10	適性試験練習１０
	11	適性試験練習１１
	12	適性試験練習１２
	13	適性試験練習１３
	14	適性試験練習１４
	15	適性試験練習１５
	16	適性試験練習１６
	17	適性試験練習１７
	18	適性試験練習１８
	19	模擬試験（適性試験）１
	20	模擬試験（適性試験）２
	21	模擬試験（適性試験）３
	22	模擬試験（適性試験）４
	23	模擬試験（適性試験）５
	24	模擬試験（適性試験）６
	25	模擬試験（適性試験）７
	26	模擬試験（適性試験）８
	27	模擬試験（適性試験）９
	28	模擬試験（適性試験）１０
	29	模擬試験（適性試験）１１
	30	模擬試験（適性試験）１２
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ（１コマ１２０分）
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後持久系トレーニング・筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。
教科書	なし
特記	
授業計画	1 公安職種の体力試験に関する研究 2 筋力トレーニング・ストレッチ運動 3 持久系トレーニング① 4 筋力トレーニング① 5 持久系トレーニング② 6 持久系トレーニング③ 7 筋力トレーニング② 8 持久系トレーニング④ 9 持久系トレーニング⑤ 10 筋力トレーニング③ 11 持久系トレーニング⑥ 12 持久系トレーニング⑦ 13 筋力トレーニング④ 14 持久系トレーニング⑧ 15 体力測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、出席状況、実技による効果測定によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究
授業計画	1 消防職経験者講義１（消防官に求められる資質） 2 消防職経験者講義２（自助・共助・公助） 3 消防職経験者講義３（消防と我が人生） 4 官公庁実務者講義１ 5 官公庁実務者講義２ 6 官公庁実務者講義３ 7 官公庁実務者講義４ 8 研究レポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）
授業概要	官公庁に出向き、講師から得た知識を基に職種研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習（福井県庁、福井税務署、裁判所など）
授業計画	1 実務経験者における講義１ 2 実務経験者における講義２ 3 実務経験者における講義３ 4 実務経験者における講義４ 5 レポート作成１ 6 レポート作成２ 7 レポート作成３ 8 レポート作成４
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	地域行政に関する基礎知識を身に付け、地域の問題解決に寄与する提案を発表する。
教科書	なし
特記	福井市職員による講義を基にした演習
授業計画	1 実務経験者における講義① 2 実務経験者における講義②　個人研究 3 グループワーク① 4 グループワーク② 5 グループワーク③ 6 グループワーク④ 7 実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ｖ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	**2年次**	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	公安職（警察、消防、自衛隊、海保）に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	各種公安職について、年度により変更される場合がある。	
授業計画	1	警察職・消防職における講義１（または演習・実習）
	2	レポート作成１
	3	レポート作成２
	4	レポート作成３
	5	海上保安官における講義２（または演習・実習）
	6	レポート作成１
	7	レポート作成２
	8	レポート作成３
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択I	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	２０時間	
授業コマ数	１０コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義	
授業計画	1	職種別ガイダンス１
	2	職種別ガイダンス２
	3	職種別ガイダンス３
	4	職種別ガイダンス４
	5	職種別ガイダンス５
	6	職種別ガイダンス６
	7	職種別ガイダンス７
	8	職種別ガイダンス８
	9	職種別ガイダンス９
	10	職種別ガイダンス10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	**2年次**
開講学期	後期
科目区分	選択I
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ60分です）
授業概要	労働局、行政書士会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 公務員制度、公務員服務規程、業務上のマナー 2 レポート作成 3 課題研究 4 外部団体から見た公務員像 5 レポート作成 6 国民より求められる公務員倫理について 7 公務員の倫理観を高めるためには（集団討論） 8 集団討論の発表
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	労働局職員、行政書士会

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論 2 民法①（講義） 3 民法課題研究 4 民法②（講義） 5 民法課題研究 6 憲法①（講義） 7 憲法②（講義） 8 憲法課題研究 9 行政法①（講義） 10 行政法②（講義） 11 行政法課題研究 12 刑法①（講義） 13 刑法課題研究 14 刑法②（講義） 15 刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ公務員コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択I
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究１ 4 課題研究２ 5 課題研究３ 6 課題研究４ 7 課題研究５ 8 課題研究６ 9 研究発表シナリオ作成１ 10 研究発表シナリオ作成２ 11 研究発表準備１ 12 研究発表準備２ 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話入門
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	２年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 出会った時のあいさつ 2 初対面の人と話す 3 人を紹介する 4 別れる時のあいさつ 5 お礼を言う 6 おわびをする 7 依頼する 8 許可を求める 9 賛成･同意する 10 反対･否定する 11 聞き返す 12 あいづちをうつ 13 発話① 14 発話② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツビジネスコース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1　基本の英会話① 2　基本の英会話② 3　基本の英会話③ 4　基本の英会話④ 5　基本の英会話⑤ 6　基本の英会話⑥ 7　覚えて便利な日常会話フレーズ① 8　覚えて便利な日常会話フレーズ② 9　覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10　覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11　覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12　場面別英会話① 13　場面別英会話② 14　場面別英会話③ 15　効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	